

第5回 神野公園再整備検討委員会

令和6年2月9日 13:30 神野のお茶屋

1. 開 会
2. 主催者挨拶 鈴木副市長
3. 前回(第4回)の振り返り
4. 「7つの体験」の項目について
5. 再整備のキャッチコピーについて
6. 再整備計画図(案)について

3. 前回（第4回）の振り返り ①

○ 全体

- ・ 再整備は手段で、ソフト（体験）が目的という点が重要である
- ・ 水は公園全体のキーになる（水路に愛称をつけては）「水との触れ合い」を公園の個性、「水の公園」
- ・ 公園全体を上から見れる塔みたいなものがあると楽しい
- ・ ヨーロッパは涼しくなった夜から公園がにぎわう。夜の活用があってもよい
- ・ 公園正門はどこなのか入口がはっきりしない
- ・ はっきりしたエントランスがあると印象が変わって良い
- ・ 休憩スペースをちりばめたほうが良い
- ・ ゾーニングよりも来園者の動線を意識し、計画に落とし込んで考えたほうが良い
- ・ 来た人の目線・動線を考えるのが大事。マップに落とし込んで考えると、必要な場所が挙がってくる
- ・ 駐車場、駐輪場、トイレ、サイン（案内板）は全体方針として基本計画に記載が必要 公園全体の案内板は必要

○ 7つの体験に関すること

【 食 】

- ・ エントランス広場に朝採りマルシェや市場があっても面白い
- ・ 遊園地前広場には屋根があり、椅子のない空間が欲しい
- ・ 休憩を想定するならば、日よけが必要。キッチンカーとは分けしたほうが良い

【 遊び 】

- ・ 水を使った納涼や水遊びは夏の利用者増につながる（今夏は暑すぎて来客が激減）
- ・ 夏の水遊びは多布施川の流れる水を利用できるのは良い
- ・ 小学生の虫取イベントなどもおもしろい

【 自然 】

- ・ 多布施川との連携は、散策して自然環境を感じるイメージ

3. 前回（第4回）の振り返り ②

○ 個別施設に関すること

- 1) 芝生広場
 - ・芝生広場は春や秋しか使われないのではもったいない。工夫が必要
- 2) 大池
 - ・水草のコウホネは絶滅危惧種だが増えすぎて良くない。減らしても良い
- 3) とんぼ池
 - ・水草を除去すると池の利用方法も増える
 - ・とんぼ池を望む景色は意識するべき
 - ・街なかで多くのトンボが生息する貴重場所。売りにできるのでは
 - ・とんぼ池内の泥を定期的に浚渫しないと状態を維持できない
 - ・管理上は池が小さいほうが良いが、絶滅危惧種はこの大きさに根付いている
 - ・地域と一緒に維持していくこと、持続性を考えねばならない（小学生と一緒に清掃するなど）
- 4) お茶屋
隔林亭
 - ・「殿様」は特徴的で、お殿様体験ができることは神野公園ならではの
 - ・直正公も弁当を持って行った記録がある（特別なランチの提供）
 - ・お茶屋のメインエントランスは東側で、ここへ人を導く動線をどう考えるか
- 5) グランド
水路
 - ・現在グランドゴルフに使用しており、高齢者の健康のためとても良いこと
 - ・利用時間を短くして、多くの方が利用できるように
 - ・グランド東水路は葦が繁茂しており、葦が生えると他の植物は育たない
 - ・人工的な場所は手を加えていかないと、適度な環境は残っていかない
 - ・ここでお金を生み出し、維持管理が回るサイクルを作る必要がある
- 6) 駐車場
 - ・駐車場が分散しているので、車での来園者が迷っている
- 7) トイレ
 - ・明るく綺麗で、人目の付くところに整備して欲しい。数は減らしてよい

4. 「7つの体験」の項目について

これまでの議論や、想定される体験を考えた場合、各項目について以下のように整理・変更した方が、より分かりやすいと考え変更したい。

	現 在	変更後（案）	備考（変更理由）
①	自然・環境	自然・環境・ 季節	自然・環境と季節は関連が深い
②	遊び	同 左	
③	食	同 左	
④	運動・健康	同 左	
⑤	教育（学び）	歴史	教育は体験に結びつきにくい
⑥	文化（歴史）	文化・ カルチャー	文化は固いイメージがある
⑦	季節（四季）	トレンド・イベント	

5. 再整備のキャッチコピー／コンセプトについて 案①

コンセプトは、

「お殿様とみんなでつくる水の広場」。

新！ 神野公園

令和のリニューアル再整備

この公園には、かの鍋島直正公が、公務の疲れを癒やすために訪れていたと言われる別邸があります。佐賀のまちの象徴ともいえる水路を引き込み、日本庭園ならではの美しい風景にあふれたこの場所。直正公は、領民たちにもこの庭園を開放する日を設け水遊びや自然を愛でる文化的な楽しみを共有した、という記録が残されています。

そんな歴史をふまえ、新しい神野公園は、「お殿様」「水」というテーマを中心にしながらここを訪れる誰もがいつ来ても楽しめる「7つの体験」にあふれた公園を目指します。

(①自然・環境・季節 ②遊び ③食 ④運動・健康
⑤歴史 ⑥文化・カルチャー ⑦トレンド・イベント)

人々の豊かな時間を願ったお殿様の思いが、時を超えて、このまちに新しいにぎわいを生み出します。202x年。みんなの神野公園、いよいよリニューアルです。

5. 再整備のキャッチコピー／コンセプトについて 案②

New KONO PARK!

神野公園 リニューアル再整備

コンセプトは、

「お殿様とみんなでつくる水の広場」。

この公園には、かの鍋島直正公が、公務の疲れを癒やすために訪れていたと言われる別邸があります。佐賀のまちの象徴ともいえる水路を引き込み、日本庭園ならではの美しい風景にあふれたこの場所。直正公は、領民たちにもこの庭園を開放する日を設け水遊びや自然を愛でる文化的な楽しみを共有した、という記録が残されています。

そんな歴史をふまえ、新しい神野公園は、

「お殿様」「水」というテーマを中心にしながらここを訪れる誰もがいつ来ても楽しめる

「7つの体験」にあふれた公園を目指します。

(①自然・環境・季節 ②遊び ③食 ④運動・健康

⑤歴史 ⑥文化・カルチャー ⑦トレンド・イベント)

人々の豊かな時間を願ったお殿様の思いが、時を超えて、このまちに新しいにぎわいを生み出します。

神野公園は、KONO PARKへ。

202x年、いよいよリニューアルです。

6. 再整備計画図（案）について -1

○ ゾーン毎の整備方針

ゾーン	ゾーンコンセプト	補足説明	7つの体験
芝生広場、水辺 (とんぼ池) ゾーン	こども達が走り回り、歓声と活気で賑わう。	イベント開催と、公園自体の魅力アップを図る	自然・環境・季節、遊び、食 運動・健康 トレンド・イベント
日本庭園ゾーン (神野のお茶屋 大池・隔林亭)	歴史を体感じながら、四季を楽しむ	お茶屋・隔林亭での新たな飲食サービスの提供等	自然・環境・季節、食、歴史
水と触れ合う 自然体験ゾーン (水路・樹林地 グラウンド)	生物・木・水との触れ合いなど、自然体験を提供	自然を体験できる水路、樹林地内を散策	自然・環境・季節、遊び 運動・健康
こども遊園地 ゾーン	こども遊園地の昭和レトロ感はそのままに		遊び

6. 再整備計画図（案）について -2

各施設の整備方針①

ゾーン・施設	整備方針	整備内容
芝生広場・水辺ゾーン		
芝生広場	樹木を残し、木陰を整備 様々な活用ができる多目的広場	小動物園 : 解体撤去 野外音楽堂 : 解体撤去
とんぼ池	水辺に近づき、生き物との触れ合いを体験	護岸の緩傾斜化 八つ橋・東屋の更新
エントランス広場	多目的に利用できる広場	イベント、遠足の集合場所、臨時駐車場を用途に整備
こども遊園地前広場	休憩や飲食に使える広場	屋根や木陰がある休息用の広場として整備
日本庭園ゾーン		
神野のお茶屋	今までと違った活用を検討 東玄関（本来の玄関）エリアを活用	葦葺屋根の葺き替え 湯沸室・管理人室の整理 （文化財として指定された経緯等を大事にする）
隔林亭	内外からの眺望・景観を生かす	屋根の葺き替え、内装改装、敷地内樹木整備
大池	水面に隔林亭など風景が映るように	繁茂しているコウホネ（水草）は整理
水と触れ合う自然体験ゾーン		
水路	水生昆虫や小魚の観察等ができる空間	自然を体験できる水路へ改修
樹林地A・B（築山）	木や昆虫や鳥などとの触れ合いの提供	散策路を整備 非LED照明を設置
グラウンド	繁忙期は臨時駐車場として活用	水路沿いに木陰を作る

6. 再整備計画図（案）について -3

各施設の整備方針②

ゾーン・施設	整備方針	整備内容
こども遊園地ゾーン		
こども遊園地	昭和レトロ感はそのまま 各エントランスを整備	エントランス周辺の整備
その他		
園 路	円滑な移動ができるよう園路の再配置	UDに対応した園路の拡幅・新設
樹 木	四季を通じた緑の創出や見通しを優先した空間整備	四季を感じる樹木の整備 見通しの確保
トイレ	再配置しリニューアル	洋式化 バリアフリー化
駐車場	案内などの情報提供を行い、利用者の利便性を向上	第6駐車場への通路拡幅 （公共交通の利用促進）
交通公園	市民生活部と協議しながら、有効な活用を検討	週末不足する駐車場としての活用も含め検討
エントランス	利用者にわくわく感を創出する	場所やデザインを今後検討
銅像・石碑等	支障になる石碑の配置等を検討	移設
キッチンカー	設営しやすい環境を整備	芝生広場やエントランス・遊園地前広場等を想定
公園内案内表示板	来園者にわかりやすい案内	エリア毎にデザインを工夫し、全体配置計画を作成

6. 再整備計画図について－5

前回の計画図からの、主な変更・修正箇所

場 所	変更・修正箇所	備 考
B とんぼ池	八つ橋を拡幅	芝生広場とこども遊園地のアクセス向上等のため
C 芝生広場	休憩施設・キッチン-停車スペースの整備	
D 遊園地前広場	屋根付き休憩スペースの整備	
E 遊具広場	中央管理事務所 トイレを集約して整備、休憩施設を整備	案内や問い合わせなどのサービス提供のため
G さくら広場	トイレを集約廃止して、東屋を整備	
築山（樹林地）	南側：散策路を整備 北側：展望台を整備	南：昆虫採集などの体験提供を想定 北：展望・休憩スペースを新設

主要ゾーンのイメージ - 1

A エントランス広場

- ・多布施川から神野公園へのメインの入口部に位置する。
- ・フリーマーケットや食の祭典、展示会等の多様なイベントが開催できる空間とする。
- ・芝生広場でのイベント開催時はイベントのゲートや仮設駐車場としての利用を図る。



B とんぼ池

- ・とんぼ池内のハツ橋を改良し、自然観察の場とともに円滑な水辺の移動空間とする。
- ・護岸は多様な生物の成育環境となるよう多自然型の護岸に改修する。



C 芝生広場

- ・軽スポーツやコンサート等のイベント活動ができる広い広場を設ける。
- ・既存樹を保存し、木陰で楽しめる空間とする。



D こども遊園地前広場

- ・こども遊園地の入口前空間は集合場所や飲食等ができる屋根付きの休憩スペースとして改修する。
- ・P-PFI等を活用し、カフェ等の飲食施設の導入を検討する。



主要ゾーンのイメージ - 2

E 中央管理事務所

- ・公園管理事務所はトイレと展示（休息）スペースを整備する
- ・簡単な小型遊具がある幼児用の広場を併設する。



F お茶屋前庭

- ・お茶屋のお庭として、大池の眺望と庭の流れを生かした整備を行う。
- ・お茶屋と一体となり、お茶会等が楽しめる空間とする。



G さくら広場

- ・大池湖畔のサクラの咲く場所として、散策や休憩等が楽しめる空間とする。
- ・サクラの保全、補植等を行い、サクラのある場所として再生する。
- ・四阿やベンチ、縁台等の休憩施設の充実を図る。

H グラウンド

- ・スポーツが楽しめる空間とする。
- ・グラウンド東側の水路を再整備し、水辺で楽しめる空間とする。

